

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

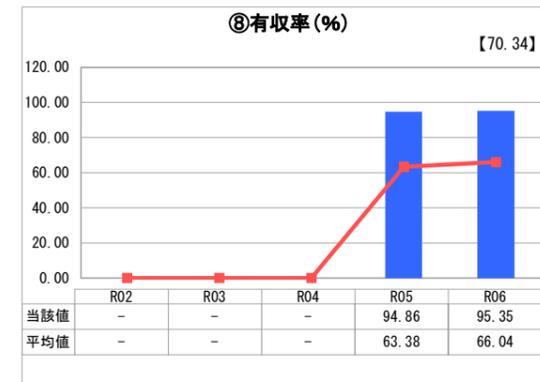
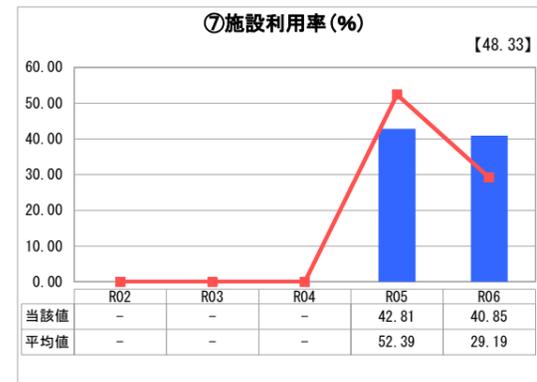
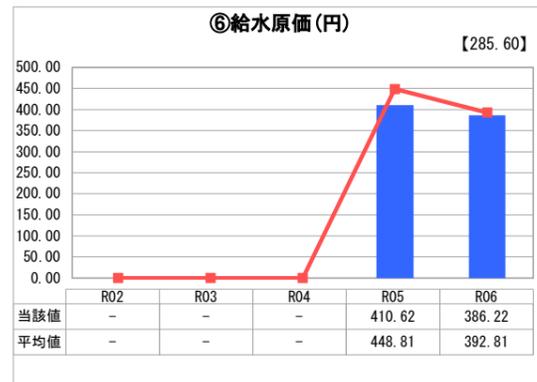
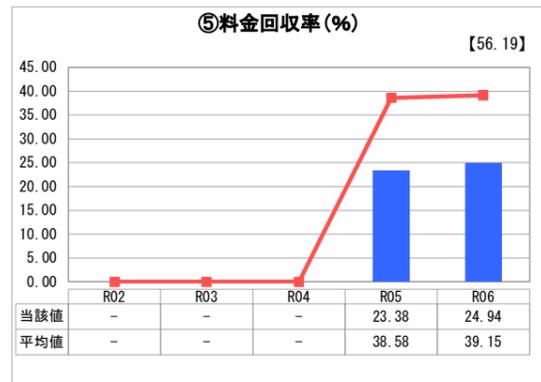
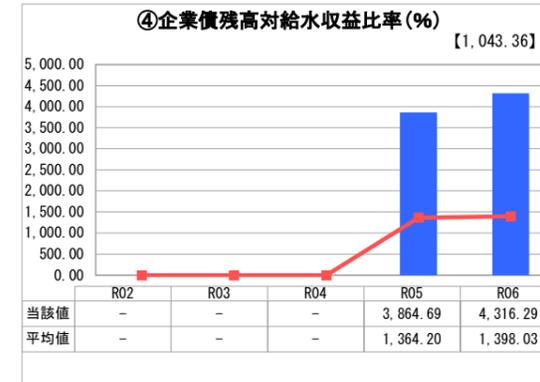
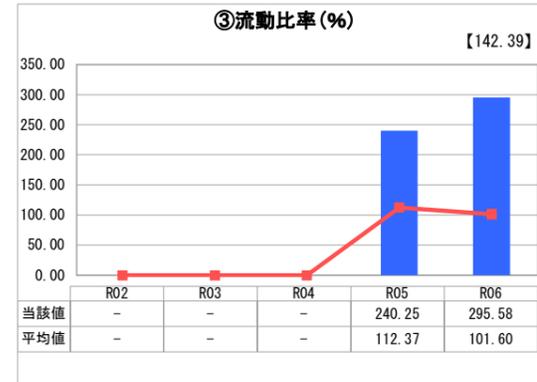
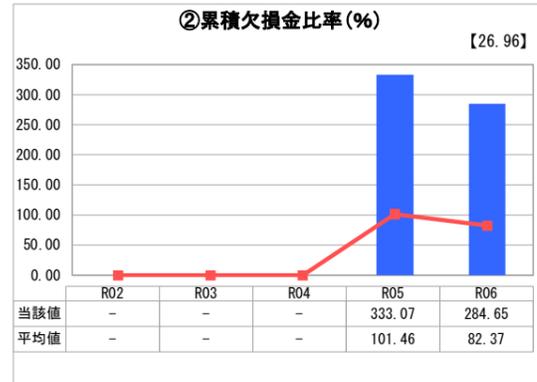
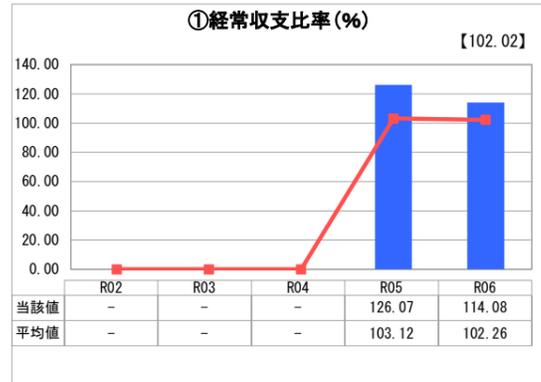
和歌山県 白浜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	11.61	3.85	1,650	

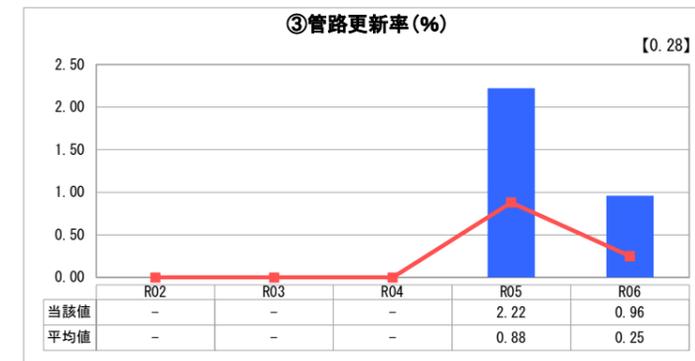
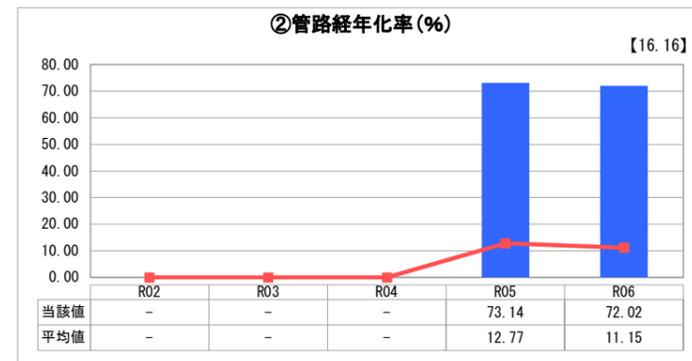
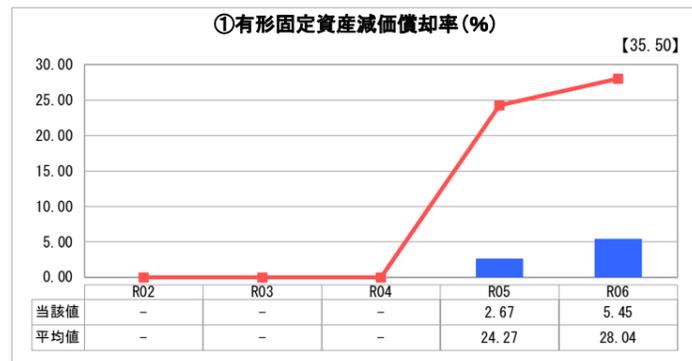
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
19,753	200.99	98.28
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
756	17.54	43.10

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率  
経営上問題がある、高い繰入率はこの悪化を一部緩和しているが、自己収益性の改善が急務である。

② 累積欠損金比率  
財政健全化のための対策が必要。繰入金に依存しない経営形態への転換が求められるが人口減少等により厳しい状況。

③ 流動比率  
高い水準であるが今後も維持していくため財政健全化に取り組む必要がある。

④ 企業債残高対給水収益比率  
収益率の向上と企業債残高の削減に取り組む必要がある。

⑤ 料金回収率  
回収率の向上に努める必要がある。

⑥ 給水原価  
さらなる原価低減に努める必要がある。

⑦ 施設利用率  
人口減少に伴う需要予測と設備計画の再評価が必要。

⑧ 有収率  
漏水箇所の早期修繕等により有収率の向上に努めている。

### 2. 老朽化の状況について

③ 管路更新率  
各地区が共用開始からかなりの年数が経過しており、ほとんどの施設及び管路が老朽化している。随時、施設及び管路の更新工事等を行っており更新率は類似団体より高くなっている。

## 全体総括

給水収益等の営業収益のみでは事業運営することが出来ず、一般会計からの繰入金に依存している状況である。健全性を維持した経営を行うため、費用削減等に努めながら、計画的に施設及び管路の更新を行う必要があるが人口減少によりますます厳しい状況が予想される。